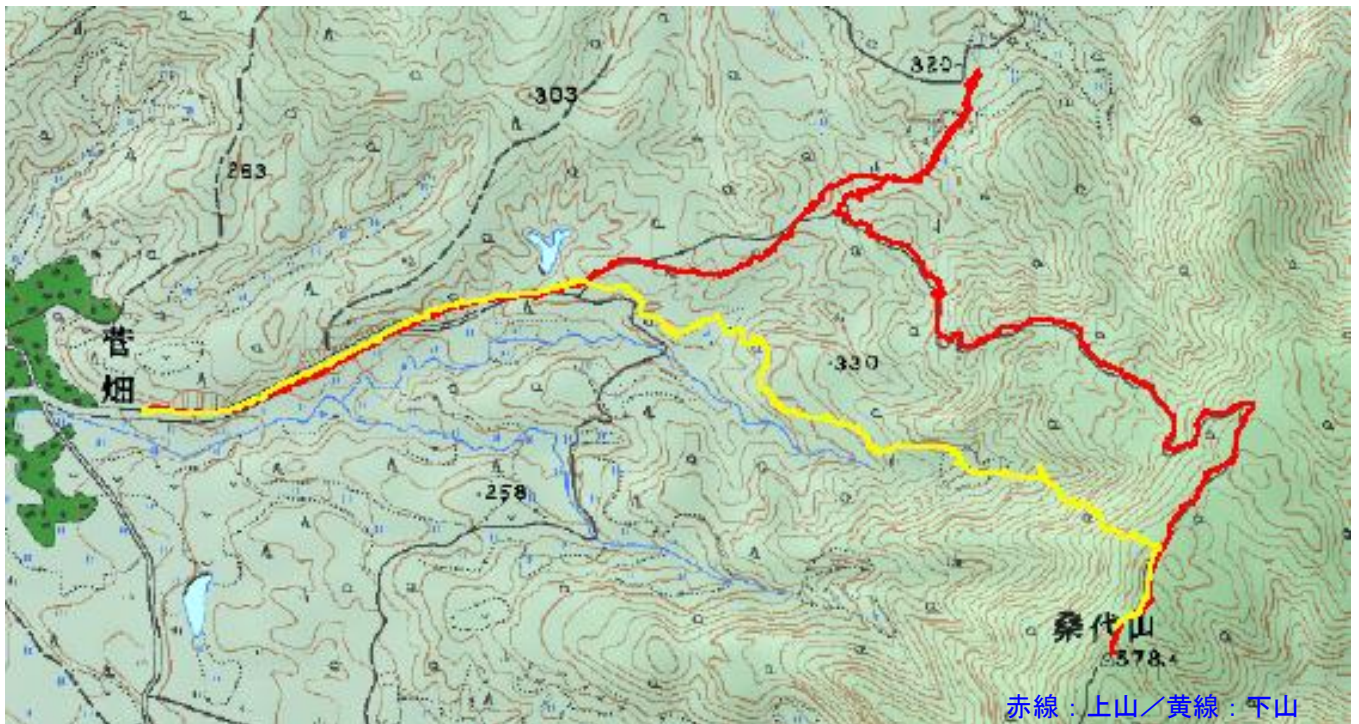


# 桑代山山行記録



桑代山



山頂到着



下山

2011年2月20日

メンバー：佐々木康夫・フサ子・中野茂・笠原正雄 《終日快晴、無風》

【上山】 9:15 最終除雪地点～9:50 林道T字路～10:20 スノーモビル隊～11:05 作業小屋～11:20 山頂

【下山】 1:15 山頂～1:20 左斜面を下る～1:35 崖上に出る～2:10 棚田～2:40 上山林道に乗る～3:00 駐車地点（歩行中の休憩時間は不記載）

会報で中野茂が米山を掛けた。但し、メンバーにより行き先変更ありとなっていた。そこで気になっていたこの山を提案した。そのうちに行くつもりでいたので、GPSにルートは入力済みであった。

菅畑と云えば、ヒロタンこと五十嵐宏之氏の住まう集落だ。黙ってお邪魔してはいけないと思い電話を試みたところ、彼は宮城蔵王でスキーを楽しんでいるとのことだ。

R290の老人ホームいずみ苑前を左折し、刈谷田川に掛かる橋を渡り、直進して菅畑集落に入り三叉路を右折すればすぐに最終除雪地点となる。1台駐車していたが、登山者のものではなかった。

林道上には昨日のものと思われるカンジキ跡があった。佐々木夫妻は壺足で進む。俺と中野は持てば重いのでスノーシューを履いて歩く。右前方に山頂が望め、左から尾根が続いている。

緩やかに登る林道を進むが、T字路の道路標識が雪から頭を出していた。右折すべき所を、広い立派な林

道に誘われて直進した。GPS 指針がルートからだんだんそれて行く。5 分程進んだ所で引き返し T 字路に戻り、幅を狭めて上がっている林道にと修正する。程なくカンジキ跡が踵を返している。従ってこの先はトレースが無い。林道は左右に曲がりながら上っている。途中で後ろからエンジン音が近づいて来た。スノーモビルの隊が分散しながら 7~8 台追越して行った。

広い台地に出ると入塩川方向が見下ろせ、さらに林道の方向が変われば栃尾市街方向を見渡すことが出来る。この付近に片屋根の作業小屋と思われる建物があつた。スノーモビル隊はそちらの先へと進んで行った。林道が徐々に狭くなり、雪に覆われてきて、登山道の様相を呈して来た。GPS を片手に持ち、ルートを外さぬように進む。手前の小ピークをトラバースし、小鞍部から少しの登り返しで山頂に着く。

100m ほど先へ下ったところに東屋が見えたが、お天気も良くて風も無い。展望のよいここに雪を掘り、テーブルベンチを作り、斉藤昭英氏から差入れてもらったボジョレーヌーボで乾杯。目の前には粟ヶ岳から川内山塊を経て守門岳がドデーンと連なっている。578m と低山ながらなかなかの好景観である。一方、反対側には東山連山から見附市街地までの見え、越後平野が広がっている。

下山は 5 分程下った所で上山尾根を降り、左の斜面へ進路をとって、下れそうな場所を見極めながら急降下する。雪が固ければとても下れる斜度ではないが、腐った雪がブレーキとなって転んでも滑落の心配は無い。康夫氏がシリセードを始めた、勢いがかかず途中で止まってしまう。下を見下ろしながら、コースを定めて進み、雪に埋もれた沢を 2 度渡り、杉植林地のふちを進み棚田に出る。右手に上山尾根が近づいて来て、林道トレースに戻って駐車地点に戻る。